

可能な限り 新しい観点から

―県の新年度の予算が決まりましたが―
西口 平成八年度予算は、私の知事としての初めての予算です。それだけに思いは格別ですが、新しい時代に向けたスタートの年の予算として、それぞれの事業について大いに議論を重ねて編成しました。
財政的に厳しい状況の中での予算編成となりましたが、可能な限り新たな観点からの施策の充実に努めました。

和歌山新時代へ

おもいっきり積極型！

平成八年度県予算



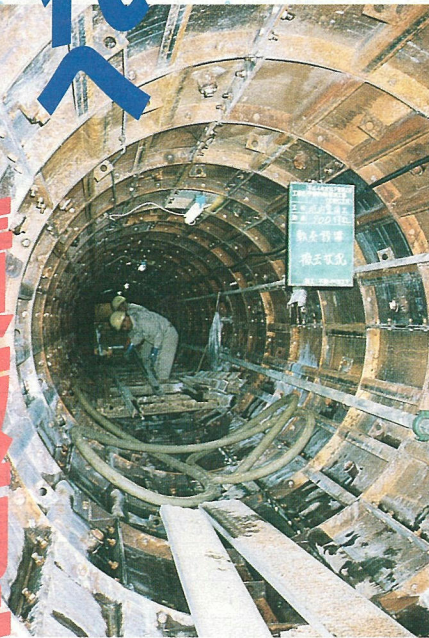
新年度予算について、西口知事に聞く

暮らしていかに 直接関わるものを

―具体的な内容など少し教えてください―
西口 まず、県民の皆さんの暮らしに直接関わるものに力を注ぎました。
例えば福祉の分野では、高齢化社会に対応した「24時間対応

―予算の特徴と基本目標は―
西口 全体の特徴をひとことと言えば、積極型予算です。道路や施設の建設など、県が単独で行う投資的事業を、前年に比べて17・1%と大幅に増やしました。

「飛躍への基盤づくり」「明るい社会づくり」「活力ある産業づくり」「快適な暮らしづくり」「豊かな人づくり」の五つの政策目標を柱に、多岐にわたる事業を盛り込んでいきます。
また、これらにより実効性の高いものにするため「開かれた県政」を進めていきます。



紀ノ川流域下水道工事

総額五、五四四億円

巡回型ホームヘルプサービス」や休日デイサービスを実施する「ホリデイサービス」の支援、少子化時代に向けては、3歳未満児の「乳幼児医療費助成の充実」などです。

産業の分野では、景気対策としての「中小企業融資の大幅拡大」や農林漁業の振興など、生活環境の分野では、市町村に対する「下水道整備支援」の大幅増や、誰もが憩える「公園整備」など、これらは一例に過ぎませんが、細かい事業を展開していきます。

―そのほかに重点的に組んだものは―
西口 もちろん、いざというときのための防災対策も重点的に取り組んでいます。



また、21世紀への飛躍のための基盤づくり、交通ネットワークの整備促進はきわめて重要です。県民の皆さんの要望が非常に大きい道路整備も、単独事業を対前年比で8・6%増やし、各種路線の整備を積極的に推進

していきます。
ほかにも、女性施策、教育・文化の充実など重点施策はたくさんあります。



各地域の発展と 広域的な連携を

―何か特色のあるものは―
西口 市町村・各地域の発展なくして県全体の発展はあり得ないという私の信念に基づき、「輝けわかやま・21世紀ふるさとづくり事業」を創設しました。
これは、各地域の個性あるまちづくりを県が支援していくというものです。

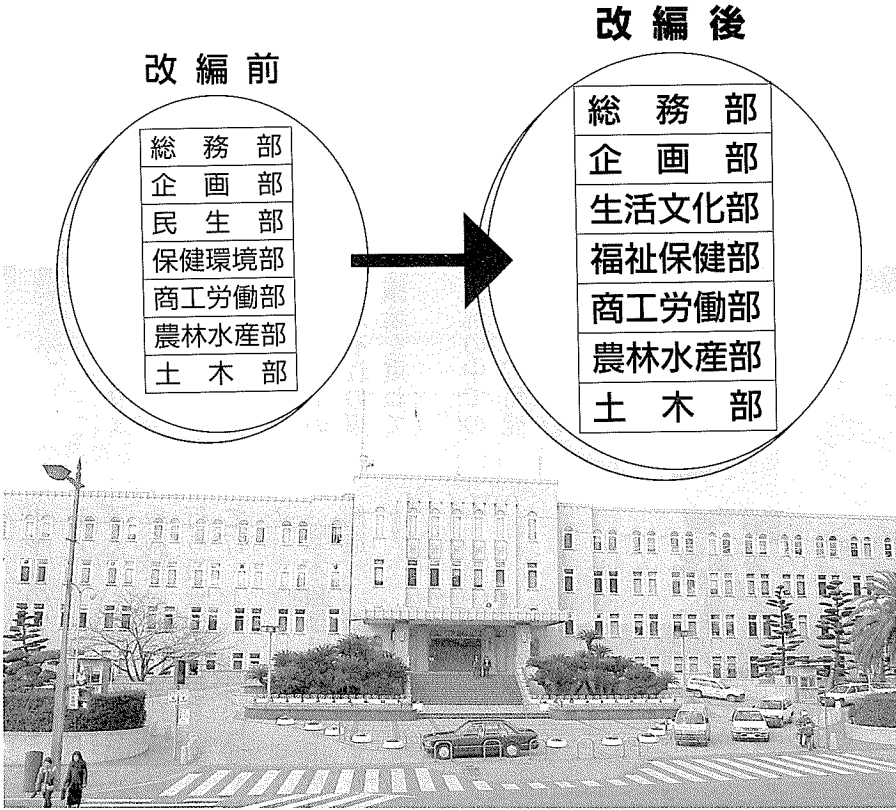
他方、世界・日本・関西の中での和歌山の発展を念頭に置くと、他府県との広域的な連携による県の振興策が不可欠です。こうした観点から、大阪湾のフロントエリアとしての「ベイフロンティア構想調査」を行うとともに三重県、奈良県との連携のもとに「紀伊半島振興ビジョン」を策定したいと考えています。



―最後に新年度の抱負をひとこと―
西口 新年度から、県民の皆さんの利便性や業務の効率を考え、県の組織も大幅に改革しました。さらに気持ちを引き締め、県民の皆さんの立場に立った県政を推進し、期待にこたえることができるよう全力を尽くしていきます。

信頼にこたえる「たくましい県庁」に

県の組織機構が大きく変わります。



「部」が変わります

「生活文化部」の設置

暮らしに関わる行政である文化、消費者保護、女性の地位向上、青少年の健全育成、環境などの施策をきめ細かく展開します。

「福祉保健部」の設置

高齢者や障害者の方などに対して、福祉と保健・医療の施策を一体的に展開します。

四月一日から、県庁の組織機構が大きく変わります。これは、二十一世紀を間近に控え、大きく変化してきた社会情勢や新しい行政課題に、的確に対応するため、「和歌山県行政改革大綱」に基づき大幅な見直しを行ったものです。

今回の機構改革では、

- ・県民の皆さんのニーズに適合した組織
- ・県民の皆さんにわかりやすい組織
- ・これからの地方分権の時代にふさわしい組織を基本目標として組織の再編を行いました。

「課、室」が変わります

知事公室

「政策推進室」(平成七年十二月設置) 重要政策の総合的検討、調整、進行管理などを行います。

生活文化部

「県民生活課」 消費者保護、交通安全、ボランティアなどの暮らしをとりまく施策を展開します。

福祉保健部

従来の民生部と保健環境部のうち、福祉・保健・医療に関する課で構成します。

企画部

「総合交通政策課」 県内の陸、海、空の交通体系の整備を一体的に推進します。

「水・土地政策課」 県土開発の基本となる土地、水資源の活用を総合的に検討します。

商工労働部

「商工振興課」 商工業の振興、企業の新規立地の促進などを体系的に推進します。

「商工金融課」 商工業への融資制度の一元化、信用組合への指導強化などを行います。

土木部

「高速道路推進局」「高速道路局」(道路建設課内) 高速道路の整備促進を図ります。

担当部局、窓口にご注意ください。

今回の組織機構の改革のうち、見直しが多かった生活文化部、福祉保健部、商工労働部の課室と主な業務を左表にまとめました。これまでの担当部局・窓口が変わっている場合もありますので、ご注意ください。

くわしくは県庁人事課
 (0734) 4112126へ

改編前 → 改編後

民生部	生活文化部
厚生援護課 児童家庭課 青少年女性課 青少年保護課 高齢社会政策課 障害福祉課 保険課 国民年金課 同和室	生活文化総務課 (知事公室から編入、名称変更) 文化の振興 博覧会記念事業推進室 (知事公室から編入) 博覧会記念事業の実施 複合施設整備室 (企画部から編入) 多目的ホール等の整備 国際交流課 (知事公室から編入) 国際交流の推進 県民生活課 (新設) 消費者保護、ボランティア、交通安全 青少年課 (新設) 青少年の健全育成 女性政策課 (新設) 女性の地位向上 生活衛生課 (保健環境部から編入) 環境・食品衛生、水道 自然環境課 (新設) 環境行政の総括、自然保護 地域環境課 (新設) 大気汚染等対策、廃棄物対策
保健環境部	福祉保健部
医務課 生活衛生課 健康対策課 成人病対策室 薬務課 環境調整課 廃棄物対策室	福祉保健総務課 (新設) 福祉保健施策の総合企画 社会福祉課 (新設) 社会福祉法人指導、生活保護、援護 児童家庭課 (民生部から編入) 児童福祉 長寿社会推進課 (民生部から編入、名称変更) 高齢化社会対策 障害福祉課 (民生部から編入) 障害者福祉 保険課 (民生部から編入) 健康保険、厚生年金 国民年金課 (民生部から編入) 国民年金業務の指導 同和室 (民生部から編入) 同和施策 医務課 (保健環境部から編入) 地域医療行政 健康対策課 (保健環境部から編入) 健康づくり対策 薬務課 (保健環境部から編入) 薬事指導、献血
商工労働部	商工労働部
商工企画課 産地振興課 企業立地課 観光課 労政課 職業能力開発課 職業安定課 雇用保険課	商工労働総務課 (新設) 商工労働施策の企画 企業診断室 (新設) 企業診断、経営指導 商工振興課 (新設) 商工業の振興 企業立地室 (新設) 企業誘致 商工金融課 (新設) 商工業金融、信組などの指導 観光課 観光振興施策 労政能力開発課 (新設) 労働福祉、職業能力の開発 職業安定課 雇用対策 雇用保険課 雇用保険

阪神・淡路大震災を教訓に

近畿府県でネットワークづくり



近畿二府七県（徳島県、福井県、三重県を含む）で地震等の災害が起こった場合、相互応援を行うことを定めた協定が二月二十日に締結されました。

大規模災害が発生した直後、被災府県独自では被災した方々に十分な応急措置が実施できないことが予測されます。このような場合、近隣の府県が被災府県からの応援要請を待たずに、生活必需物資の提供や職員の派遣など応援活動を円滑に行うことができるように取り決められたものです。

各府県ごとに「応援主管府県」と「応援副主管府県」を設定し、他府県の応援活動を調整します。

例えば、和歌山県で震度六以上の地震が発生した場合、徳島県で被害が起こった場合の応援副主管府県にあたる予定です。

今後は、府県間の応援活動が円滑に行われるように、毎年、近畿二府七県合同で防災訓練を実施。今年は和歌山県で行います。

拝啓 県民のみなさまへ

陽春の四月を迎え、いよいよ平成八年度がスタートします。

新しい職場、新しい学校、学年を迎えた皆さんをはじめ、県民の皆さんそれぞれが、希望や決意に燃えていることと思います。

県庁も、思い切った組織機構の見直しを行い、それに伴う人事異動を実施いたしました。新体制のもと「やる気で頑張る」平成八年度にしたいと思っています。

また、県庁が県民の皆さんに親しまれるように、入っていただきやすいように、各課室の出入口に

ガラス窓を設けることにしています。

県の財政も大変厳しい状況にあります。道路交通網の整備をはじめとする各種プロジェクトを積極的に進めるとともに、生活に密着した福祉面などでもきめ細かな施策を進めてまいります。

県民の皆さんが、それぞれの立場でいきいきと頑張っていただけることを、心からお祈り申し上げます。

和歌山県知事

西口勇

(地域+大学)×研究=?

「わかやま学」研究支援事業

県では、「わかやま」にこだわった研究を応援するとともに、大学と地域との結びつきを強めるため、大学の教員が自由な発想で行う「わかやま」をフィールドとした研究に対して補助金を交付し、「わかやま」の新たな飛躍を見出そうとしています。

平成七年度は、ウメ衰弱症、紀州備長炭、城下町和歌山の景観復元、インターネットによる地域情報発信、地震防災データ

県では、「わかやま」にこだわった研究を応援するとともに、大学と地域との結びつきを強めるため、大学の教員が自由な発想で行う「わかやま」をフィールドとした研究に対して補助金を交付し、「わかやま」の新たな飛躍を見出そうとしています。

平成七年度は、ウメ衰弱症、紀州備長炭、城下町和歌山の景観復元、インターネットによる地域情報発信、地震防災データ

障害者の方の働く場を「ウイナック株式会社」竣工



重度障害者の方に働く場を提供する「ウイナック株式会社」の社屋が和歌山市雑賀崎で三月六日に竣工し、十二日から操業を開始しました。



これは、全ての障害者の方が、能力と適性に合った職場で生きがいを持って働くことを目的に、民間企業と和歌山県、和歌山市が協力し設立したものです。

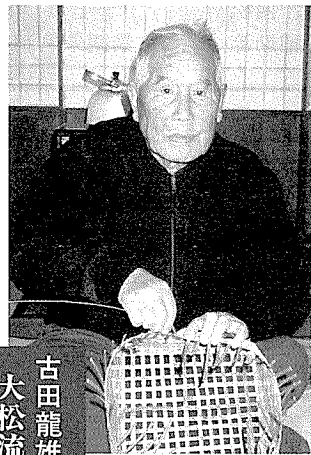
事業内容は、ピストンの製造や金型製作、食品の包装等です。

三十三人の従業員のうち、十八人が重度障害者や精神障害者の方で、徐々に採用を増やしていく予定です。

県では、障害者の方が、働く喜びや生きがいを見出し、地域社会の中で活躍できるよう取り組んでいます。

県名匠表彰受賞

伝統の技を大切に



古田龍雄氏
大松流有田かご製作

明治三十七年日高郡中津村に生まれた古田龍雄氏は、二十歳の時に有田郡金屋町の大松流のかごに魅せられ、以来今日まで、約七十年間かごづくりに努めています。

大松流のひとつのかごを師匠として、竹の選定、ひごづくりから製作まで、すべて独学で始めました。

製作するなかで最も神経を使うところは、最終段階でかごの胴部分に熱湯で曲げられた横骨を差し込んでいく作業と、かごの口の部分を薄く削った淡竹で巻き上げていく作業だそうです。

完成したかごの良否を左右し、熟練した技術が必要になります。

古田さんの作られたかごは、日高川の太公望たちの腰に、見受けられます。



長谷川時和氏
木製家具製造

大正三年、海南市に生まれた長谷川時和氏は大阪市の木工所で、約十年間家具製作技術を習い、その後郷里で木工所を開業しました。

すべて注文を受けてから企画、デザインし、長年の経験と伝統的な手仕事の技法により木製家具を製作しています。

代表作には、昭和三十七年の天皇皇后両陛下の行幸啓に際し

お使いになられた机、椅子を始め、和歌山県議会本会議場で使用されている家具等が挙げられます。

和歌山県洋家具商業協同組合副理事長として業界の発展と後進の指導に寄与し、多大な功績を残されています。

昭和五十六年に和歌山県技能賞、平成三年に労働大臣賞を受賞。

一般会計予算5,543億9,430万6千円、特別会計予算総額 1,165億1,826万4千円、地方公営企業特別会計予算総額 385億8,290万6千円。投資重点型の積極予算となった平成8年度県予算。具体的にはどんな事業を行うのか、主なものを紹介します。

紙面の都合上、すべてを紹介できませんが、ここにあげるもののほかにも特色ある事業は数多くあります。

10万円未満四捨五入、**新**は新規事業

中小企業融資を大幅拡大 産業の活性化

- 新** 県産業情報センターの新設 1,850万円
海南インテリジェントパーク内に設置 県内産業の高度情報化を支援
- 新** 香港駐在員の設置 1,890万円
アジア地域の情報を収集、県経済の国際化を支援
- 新** 創造的中小企業創出支援 5億円
ベンチャー企業への投資を促進 中小企業融資制度の充実
- 新** 新規融資枠の大幅拡大(対前年比25%増) 261億100万円

たくましい農業、林業、水産業を 農林水産業の振興

- 新** 中核農業経営者育成対策資金 250万円
省力化等に取り組む農業者に対する特別利子補給 県産農産物販路拡大推進
- 1,900万円
県産農産物の販路拡大やPR
- 新** 県産材流通安定促進 5,470万円
原木出荷の促進を図るための助成
- 新** 森林整備活性化 5,000万円
森林組合による除間伐事業に対する助成
- 新** 水産試験場への人工衛星画像受信システムの導入 3,700万円
漁場探索情報を漁業者に提供



森林組合による除間伐事業に対する助成

新 水産試験場への人工衛星画像受信システムの導入 3,700万円
漁場探索情報を漁業者に提供

下水道整備支援が大幅増 生活環境の向上

- 下水道整備促進整備補助 5,430万円
10市町村、対前年比44%増 合併処理浄化槽整備補助 4億3,150万円
42市町村、対前年比18%増 紀ノ川流域下水道(伊都処理区) 40億3,500万円
処理場本体工事に着手
- 公園の整備推進 7億8,540万円
橋本運動公園、紀三井寺公園、西松江緑地、市町村の都市公園整備補助等
- 公営住宅建設 11億8,480万円
新たに城北団地、紀伊団地(和歌山市)、岡団地(上富田町)に着手など
- 新** 輝のくに景観づくり調査 340万円
景観条例制定・モデル地区指定の検討



公営住宅建設 11億8,480万円
新たに城北団地、紀伊団地(和歌山市)、岡団地(上富田町)に着手など

新 輝のくに景観づくり調査 340万円
景観条例制定・モデル地区指定の検討

県内各地で意見交換会を 開かれた県政の推進

- 新** 「知事と語ろう明日のふるさと」の実施 250万円
県内各地で県民各層との意見交換会を開催
- 新** 県庁各課室の扉の改修 1,630万円
県民の利便性向上のために、現在の木の扉にガラス窓を設置

市町村が行う同和対策事業には、市町村が単独で行う事業と県や国の補助を受ける事業とがあります。このうち、国の補助を受けて行う事業の場合、その費用は国からの補助金(国庫補助金)と市町村の借金(地方債)でまかなわれます。市町村が借りたお金は、返済をしていかなければなりません。国の補助事業を行うために借りた借金(地方債)の返済には、国から一定の割合で普通交付税が交付されます。その割合

同和対策事業と 地方交付税

各種施設整備の計画的推進

- 建設推進**
- 県多目的ホール(仮称)建設 87億9,400万円
平成9年7月オープン予定
- 県立医科大学移転整備 132億5,030万円
平成11年4月移転完了予定
- 工業技術センター再編整備 5億930万円
平成8年12月整備完了予定

- 新規着工**
- 県総合健康・福祉棟 3億1,420万円
平成10年度完成予定



- 橋本運動公園内の多目的体育館 4億円(再掲)
各種室内スポーツ大会や多様なコンサート、イベントが可能
平成11年度完成予定



- 新** 中核農家等ふれあい研修館 2億1,720万円
暖地園芸センター内、平成8年度完



- 成予定
- 警察テクニカルセンター 5億7,420万円
平成9年度完成予定

- 用地購入**
- 新** 健康ふれ愛和歌山計画用地 50億8,290万円

- 新** 新看護婦等養成所建設 8,230万円
那賀町に県立高等看護学院建設のための基本・実施設計を実施 用地は土地開発公社が代行取得
- 新** 根来山森林体験パーク(仮称) 14億円
体験型森林公園を整備するため、根来山国有林を取得(面積195ha)

- 調査・検討**
- 都市型高度複合施設 500万円
県立医科大学跡地利用の基本構想を策定

- 新** 養護学校新設 670万円
県立医大紀伊分校移転跡地を予定
- 新** 南紀福祉センター改築整備 870万円
- 新** 五稜病院再編整備 1,720万円

- 動物愛護センター建設 1,050万円
- 新** ニュープラザ(仮称)建設 1,150万円
勤労者の多様なニーズに応える施設 実施設計などを実施

- 新** 果樹園芸試験場再編整備 950万円

新たな起爆剤を 大規模イベントの実施・推進

- 新** 観光フェスタ'96和歌山 5,000万円
世界観光フォーラム、熊野古道ウォークなど
- 世界リゾート博記念イベント 2,500万円
8月に和歌山マリーナシティで開催



- 新** 南紀活性化イベント検討調査 1,580万円
平成11年を目途に開催予定

次代を担う人づくり 教育・文化・国際化

- 高等学校施設の整備 42億7,160万円
校舎等の新築及び大規模改造など 私立高等学校等経常費補助 29億750万円
私立高校等の保護者負担を軽減
- 新** 輝けハイスクール支援 1,200万円
県立学校が地域づくりに参画
- 新** 登校拒否・いじめ防止緊急対策 580万円
カウンセラーの派遣などを実施



- 新** 歴史の道活用推進 1,000万円
古道に沿った歴史的遺産・環境を保全、活用
- 新** 日中友好スポーツ交流 290万円
中国・山東省とスポーツ交流

さらさら

個性光るまちづくりを支援 地域振興施策の充実

- 輝けわかやま・21世紀ふるさとづくり**
5億90万円
個性の光るまちづくりに対して1億円を限度に支援
- 和歌山ふるさとリゾート推進**
3億200万円

- 宿泊施設、文化・交流施設等の整備を支援
- 山村21創造** 2億円
地域リーダーの育成、若者定住住宅の整備など山村地域の活性化施策に補助

徳島県と…、三重県・奈良県と… 各府県との広域的な連携による和歌山県の振興

- ベイフロンティア地域整備構想調査**
1,000万円
徳島県と連携して、大阪湾のフロントエリアとして各種ネットワークについて調査
- 紀伊半島振興ビジョン(仮称)の策定**
500万円
三重県、奈良県と共同で策定



県内2時間ネットワークをめざして 交通ネットワークの整備促進

- 県内道路網整備の推進**
425億6,500万円
単独事業による県内各路線の積極的かつ重点的な推進(8.6%増)



- 近畿自動車道紀勢線整備関連**
12億8,000万円(一部再掲)
- 紀淡海峡ルート建設推進**
5億3,760万円(一部再掲)
- 京奈和自動車道の建設推進**
33億9,400万円
- JR和歌山線の利便性向上方策の検討**
800万円
平成10年度事業着手を目標に調査を実施
- 港湾の新規国際航路の開設推進**
330万円



- 東京及び中国・青島でポートフォーラムを開催
テクノスーパーライナーの誘致
1,480万円
航路の開設に向けて、貨物輸送システムに関する調査を実施
- 関西国際空港対策** 7,670万円
1期事業(PART II)・2期事業推進のための出資金など
- 南紀白浜空港の2千メートル化の実現** 6,800万円
滑走路延長計画調査、利用促進キャンペーンを実施



学校に、公園に、病院に… 防災対策の強化

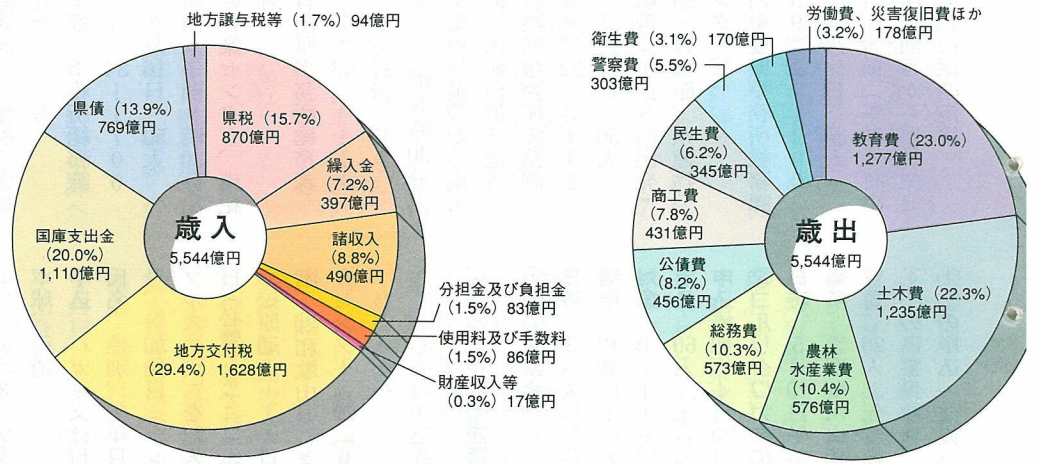
- 耐震診断の実施**
1億3,930万円
県立学校(高校18校、特殊学校2校)、紀三井寺競技場、警察交通センターなどで実施
- 緊急職員参集装置導入**
1,120万円
防災関係職員の初動体制確立のため整備
- 防災施設整備強化促進**
950万円
市町村が整備する耐震性貯水槽に補助を実施
- 近畿府県合同防災訓練**
5,000万円



近畿2府7県の合同訓練を和歌山県で開催

積極型の県予算 その中身は

一般会計予算2.0%増、県単独(投資)事業17.1%増



安心と自立 福祉対策の充実



- 在宅福祉3事業の拡充**
11億3,040万円
24時間対応巡回型ホームヘルプサービスをはじめとする在宅老人福祉サービスを充実
- 在宅福祉支援** 4,000万円
新しくデイサービスの休日実施に対し補助を行うほか、県単独の補助制度を拡充
- 高齢者住宅改造補助** 1,000万円
要介護老人等のための住宅改造経費への補助
- 高齢ドライバー交通安全対策** 3,770万円
交通安全教育車を導入し、県下各地を巡回
- 障害者**
心身障害者・精神障害者の共同作業所運営補助拡充 9,130万円
障害者の通所する共同作業所に対する運営補助。補助基準額を6~11%増
- 重度心身障害児(者)医療費支給範囲拡大 9億5,770万円
医療費支給範囲を、一定の身障手帳

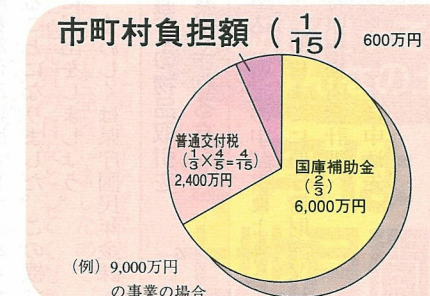
- 3級所持者の入院医療費にも拡大
- 障害者用トイレ設置補助** 450万円
主要幹線道路沿いの民間施設整備に対して補助



- 子ども**
子育て支援策の拡充 1,660万円
県版エンゼルプランの策定、児童福祉施設の短期利用、子育てハンドブックの作成など
- 乳幼児医療費助成の対象拡大 2億8,650万円
3歳未満児の医療費無料制度の対象に歯科を追加
- 難病対策** 5億6,340万円
糖尿病などの小児慢性特定疾患について、20歳まで対象年齢を延長
- 同和問題の解決** 13億7,210万円
「地対財特法」の最終年度を迎え、同和問題の早期完全解決のため、環境整備などの残事業や教育啓発活動、産業就労対策を推進

女性が活躍しやすい環境を 女性施策の推進

- わかやま女性100人委員会** 500万円
住みよい地域づくりのため女性の立場から意見をいただき、県政に反映
- きらめく女性地域活動支援** 1,000万円
女性グループの社会参加活動費に対する補助
- 農村女性活動促進対策** 770万円
女性ファーマーズ会議の開催など
- 女性白バイ隊員の登用** 280万円
女性白バイ隊員(婦人警察官)の登用



返済額には含まれません。つまり、国の補助金の割合が、地方債の割合が、で行われる事業の場合、その地方債のうちの約6割が普通交付税でまかなわれるため、市町村の自己負担は約1/3となり、その事業の全費用のうち約6・7%となります。(例参照) また、市町村が単独で行う事業などについては、特別交付税により市町村の負担の軽減が図られています。平成7年度で措置された特別交付税は約37億円です。

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

おしらせ

募集

紀の国ふれあいバス



申込先 東牟婁事務所総務課
☎(0735) 22-8551
参加費 Aコース2、000円、B・Dコース600円(Dは65歳以上200円)、Cコース500円、Eコース1、370円、Fコース500円、Gコース900円(65歳以上400円)、Hコース530円(A・Eコースは昼食代込み)

申込先 県庁広報課
Bコース 5月15日 50人
海南市役所前(午前8時30分出発)から南紀白浜空港、南方熊楠記念館等

申込先 海草事務所総務課
☎(0734) 23-9261
Cコース 5月14日 50人
那賀総合庁舎前(午前9時出発)から県林業センター、南紀白浜空港

申込先 那賀事務所総務課
☎(0736) 63-0100
Dコース 5月16日 50人
伊都総合庁舎前(午前9時出発)から健康館・万葉館、県植物公園緑花センター等

申込先 伊都事務所総務課
☎(0736) 34-1700
Eコース 5月16日 50人
有田市役所前(午前8時30分出発)から県林業センター、南紀白浜空港等

申込先 有田事務所総務課
☎(0737) 63-4111
Fコース 5月17日 45人
由良町門前(午前8時30分出発)から南紀白浜空港等

申込先 日高事務所総務課
☎(0738) 22-3111
Gコース 5月17日 50人
紀伊田辺駅前(午前8時出発)から健康館・万葉館、県植物公園緑花センター等

申込先 西牟婁事務所総務課
☎(0739) 22-1200
Hコース 5月14日 36人
東牟婁総合庁舎前(午前8時出発)から古座駅前等から県林業センター、南紀白浜空港等

申込先 東牟婁事務所総務課
☎(0735) 22-8551
参加費 Aコース2、000円、B・Dコース600円(Dは65歳以上200円)、Cコース500円、Eコース1、370円、Fコース500円、Gコース900円(65歳以上400円)、Hコース530円(A・Eコースは昼食代込み)

申込先 県庁広報課
Bコース 5月15日 50人
海南市役所前(午前8時30分出発)から南紀白浜空港、南方熊楠記念館等

申込先 海草事務所総務課
☎(0734) 23-9261
Cコース 5月14日 50人
那賀総合庁舎前(午前9時出発)から県林業センター、南紀白浜空港

申込先 那賀事務所総務課
☎(0736) 63-0100
Dコース 5月16日 50人
伊都総合庁舎前(午前9時出発)から健康館・万葉館、県植物公園緑花センター等

申込先 伊都事務所総務課
☎(0736) 34-1700
Eコース 5月16日 50人
有田市役所前(午前8時30分出発)から県林業センター、南紀白浜空港等

申込先 有田事務所総務課
☎(0737) 63-4111
Fコース 5月17日 45人
由良町門前(午前8時30分出発)から南紀白浜空港等

申込先 日高事務所総務課
☎(0738) 22-3111
Gコース 5月17日 50人
紀伊田辺駅前(午前8時出発)から健康館・万葉館、県植物公園緑花センター等

申込先 西牟婁事務所総務課
☎(0739) 22-1200
Hコース 5月14日 36人
東牟婁総合庁舎前(午前8時出発)から古座駅前等から県林業センター、南紀白浜空港等

電話番号、参加希望者全員の氏名、年齢、学年を記入し(未成年者だけで参加の場合、保護者名が必要)、〒642 海南市船尾370-1 県立自然博物館 ☎(0734) 83-1777へ
くわしくは申込先へ

ふれあい看護体験'96
簡単な看護を体験し、看護に理解を深めてください。
対象 高校生以上
期日及び場所 5月8日 日赤和歌山医療センター 5月13日 国立南和歌山病院 5月14日 橋本市市民病院、県立医大附属病院、済生会和歌山病院、国保古座川病院 5月15日 国保那賀病院、国保野上厚生総合病院、有田市立病院、国立療養所和歌山病院、社会保険紀南総合病院、社会保険紀南総合病院新庄別館、総合病院新宮市立市民病院 5月16日 県立医大附属病院紀北分院、和歌山労災病院、和歌山生協病院 5月17日 海南市市民病院、国保日高総合病院
応募方法 往復ハガキに希望の病院名、住所、氏名、年齢、職業(学年)、電話番号、身長、洋服のサイズを記入し、4月15日までに〒641 和歌山市西浜10-14-27 県看護協会へ(多数の場合抽選)
くわしくは応募先 ☎(0734) 46-0605へ

ファミリー海のつどい
期間 5月25、26日 一泊二日
場所 県立白崎少年自然の家
対象 県内在住の小・中学生を含む15家族(多数の場合抽選)
内容 磯釣りの実技と講義
参加費 小・中学生1、970円、高校生・30歳未満2、080円、30歳以上2、540円
申込 ハガキに住所、参加希望者全員の氏名、年齢(学年)、電話番号を記入し4月25日(必着)

までに〒649-11 日高郡由良町大引96-1 県立白崎少年自然の家へ
くわしくは申込先 ☎(0738) 65-2351へ

洋上老人大学「長寿丸」
期間 6月4、7日 三泊四日
コース 和歌山港―宮崎―霧島―鹿児島―和歌山港(船中二泊)
対象 県内在住の65歳以上(平成8年6月1日現在)の団体行動ができる方
参加費 3万円
定員 47人
申込 5月7日までに居住地の市町村役場へ
受付開始日など各市町村により異なりますので、くわしくは申込先へ

近畿青年洋上大学
近畿の青年が中国、韓国を訪問し、現地青年との交流やホームステイを通して国際的な理解を深めます。
期間 8月6、18日
資格 県内在住の20、30歳の青少年団体活動を行っている方、又は今後行おうとする方
定員 30人
参加費 16万円
申込 4月30日までに各市町村役場青少年担当窓口へ
くわしくは県庁青少年課又は各県事務所民生課へ

くわしくは女性就業援助センター ☎(0734) 33-1181又は申込先へ

第29回県民文化祭のテーマ
今年の県民文化祭は、9月から4カ月間、ふるさとに誇りを持ち、新たな和歌山を創造することをめざして開催します。
応募方法 ハガキにテーマ1点(15文字以内)と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し4月15日までに県庁生活文化総務課へ
くわしくは応募先へ

全日本中学生水の作文コンクール
対象 県内の中学生
課題 水について考える(題名は自由)
規格 40字詰め原稿用紙4枚以内
応募方法 原稿用紙に学校所在地、学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入し、5月15日までに県庁水・土地政策課へ
くわしくは応募先へ

くわしくは女性就業援助センター ☎(0734) 33-1181又は申込先へ

警察官受験セミナー
日時 5月3日午後1時30分
場所 華月殿(和歌山市)
※採用は平成8年9月と平成9年4月にあります。
申込方法などくわしくは県警察本部警務課任用係 ☎(0734) 23-0110へ

労働保険の年度更新手続は5月15日までに
労働保険の申告納付は5月15日までに必ず済ませてください。
くわしくは和歌山労働基準局、各労働基準監督署又は県庁雇用保険課へ

家計調査、单身世帯収支調査にご協力を
県では現在、和歌山市、有田市、白浜町で家計調査と单身世帯収支調査を実施しています。
この調査は皆さんの家計の収入や支出を家計簿につけていただき消費の内容、地域による暮らしの内容の相違などを調べるもので、国、県や市町村の政策立案等に利用されています。
一定の統計上の選定方法により選ばれた世帯に調査をお願いいたしますのでご協力ください。
なお、調査した内容は法律で守られており、徴税などのために使うことは絶対ありません。
くわしくは県庁統計課へ

は市町村役場担当課で飼養許可を受ける必要があります。
4、6月は野鳥の繁殖期にあたり、捕獲許可はできません。
捕獲許可に関する場合は、最寄りの県事務所林務課へ、飼養許可に関する場合は市町村役場へお問い合わせください。

第3号被保険者の特例届出
厚生年金や共済組合に加入している方に扶養される20歳以上60歳未満の配偶者の方を第3号被保険者といいます。
第3号被保険者の方は該当したときから30日以内に市町村役場に届け出なければなりません。
届出が2年以上遅れた場合、届出日から2年以上前の期間は保険料の未納期間として、年金額に算入されません。
特例届出期間(平成9年3月まで)に届出を行えば、昭和61年4月1日以降に第3号被保険者に該当していた期間全てが保険料納付済期間として認められることになりました。この機会に届出をしましょう。
くわしくは県庁国民年金課へ

県この物品取引を希望される方へ
申込 所定の申請書により5月1、31日までに県庁管財課又は各県事務所会計課へ
くわしくは申込先へ

県が購入する物品等の発注方法が一部変更しました
県が購入する物品等の発注方法が変更し、1月1日から購入予定金額が3千3百万円以上、4月1日からは購入金額2千8百万円以上の物品は、原則として一般競争入札となっています。入札の日時、場所等必要な事項は県報で公告します。
くわしくは県庁管財課へ



野性鳥獣の捕獲、飼養は許可が必要です
野性鳥獣を勝手に捕獲したり飼養することは法律で禁止されています。
愛がん目的で捕獲、飼養できる野鳥の種類は、マヒワ・ウツホウジロ・メジロの4種類のみで、1世帯につきいずれか1羽に限られています。
捕獲するためには県事務所林務課で捕獲許可を、飼うために

お知らせ

催し

県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029
 スミレ展 4月13～14日
 趣味の教室「春の原色押し花の作り方」4月14、21日
 園芸教室「サボテン等の育て方、殖やし方」4月28日
 〈春の催し〉花と緑の園芸市、春の原色押し花展、サボテン・多肉植物展、春の山草展 5月3～6日
 春の盆栽展 5月10～12日

県立近代美術館 ☎(0734)36-8690

美術館へいったら?!「絵画」というしくみ
 4月13日～5月19日 一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円
 休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)

わかやま館 ☎(0734)48-0070

大河ドラマ展
 8月31日まで開催 2階展示室I
 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

お気軽にどうぞ

交通事故相談
 【常設相談】月～金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く)
 場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
 【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1～3時
 【巡回相談】●伊都県事務所 4月24日 ●西牟婁県事務所 4月10日、5月8日 受付 午後3時まで

県民相談
 【常設相談】月～金曜日
 場所 県庁県民相談室、各県事務所
 【弁護士による法律相談】毎月第2、4金曜日
 受付 午前9～11時 場所 県庁県民相談室
 【移動相談】●本宮町山村開発センター 4月18日 ●下津町方集会所 4月24日 受付 午後1～3時
 ※くわしくは県庁県民相談室☎(0734)41-2359(交通事故相談)、41-2356(県民相談)へ

電波で結ぶあなたと県政

テレビ	テレビ和歌山
きのくに'96	日曜日 午前10時～ (再)日曜日 午後10時30分～
県政フラッシュ	金曜日 午後6時15分～
県民チャンネル	月～金曜日 午後8時55分～
はばたく紀の国	土曜日 午後6時～

ラジオ	和歌山放送
県民マイク	土曜日 午後2時30分～
県庁だより	毎日 午前11時40分～ (再)毎日 午後6時～
定期便教育の窓	第2・4土曜日 午後2時15分～

文字放送 テレモ西日本 511#
 紀の国・和歌山情報 毎日 午前6時～深夜0時

骨髄バンクに登録を!
 白血病等の難病の治療に骨髄移植を必要とされる方のために、骨髄バンクにご協力ください。
 4月から高野口保健所、新宮保健所で、骨髄バンクの登録受付を開始します。
 受付日時 毎月第3月曜日 午前9～11時
 くわしくは県庁業務課又は高野口保健所 ☎(0736)42-3210、新宮保健所 ☎(0735)22-8551へ

危険物取扱者試験

日時 6月9日午前9時30分
 場所 和歌山市、田辺市、新宮市(受験票に明示します)
 種類 甲種、乙種(全類)、丙種
 願書配布 県庁消防防災課、各

県獣医学士修学資金貸与
 対象 将来、和歌山県の機関で獣医師の業務に従事希望する獣医学士(大学1～6年生)
 学校締切はこれより早くなり、またお早めにご相談ください。

中小企業設備近代化資金
 設備近代化資金 中小企業の方に無利子で設備資金の約半額をお貸しする制度。貸付額の最高限度は4千万円。返済方法は1年以内の据置後4年均等償還。
 設備貸与資金 中小企業の方が保証金と貸与損料で設備を使用しながら取得できる制度。貸与限度額は3千5百万円、リース限度額は6千万円。
 説明会 4月19日(伊都総合庁舎・日高総合庁舎、4月22日(西牟婁総合庁舎、4月23日(東牟婁総合庁舎、4月24日(県民文化会館)いずれも午後1時～

勤労者育児・介護休業生活資金融資制度
 勤労者が育児休業や要介護者

飼い犬は年一回狂犬病の予防注射を受けましょう
 狂犬病の予防注射は年一回です。新しく犬を飼いだめた方は登録しなければなりません。4月から各市町村で実施される定期集合注射の会場等必ず予防注射と登録を行ってください。
 日程、会場は各市町村役場又は最寄りの保健所でご確認ください。
 くわしくは県庁生活衛生課へ

日本育英会奨学金
 優れた資質をもちながら、経済的理由で修学困難な方に奨学金を無利子で貸与します。
 資格 ①高校(盲・ろう・養護学校高等部を含む)に在学中の方 ②高校、高等専門学校、大学、短大に来年進学予定の方
 申込 ①4月10日～7月22日 ②4月15日～6月10日までに在学(出身)の学校を通じて日本育英会和歌山県支部 ☎(0734)36-11563へ

設備近代化資金
 中小企業の方に無利子で設備資金の約半額をお貸しする制度。貸付額の最高限度は4千万円。返済方法は1年以内の据置後4年均等償還。
 設備貸与資金 中小企業の方が保証金と貸与損料で設備を使用しながら取得できる制度。貸与限度額は3千5百万円、リース限度額は6千万円。
 説明会 4月19日(伊都総合庁舎・日高総合庁舎、4月22日(西牟婁総合庁舎、4月23日(東牟婁総合庁舎、4月24日(県民文化会館)いずれも午後1時～

勤労者持ち家推進利子補給制度
 県では、勤労者の持ち家取得を支援するため、住宅取得資金借入金に対する利子補給を行います。
 利子補給率 0・8%以内(平成8年度)
 利子補給期間 5年間
 対象限度額 500万円
 取扱金融機関 和歌山県労働金庫
 くわしくは、県庁労政能力開発課又は各県事務所産業課へ

運転免許等に関する手数料が一部改定します
 4月1日から講習手数料が、1時間当たり100円の引き上げとなります。免許証交付、再交付試験等の手数料も同様です。
 くわしくは県警察本部運転免許課 ☎(0734)73-11721へ

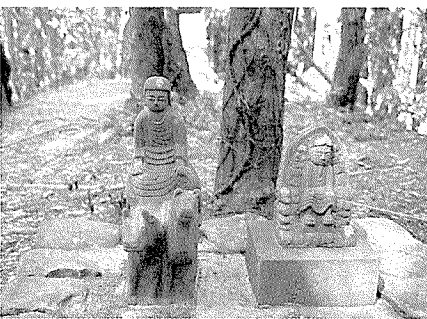
県事務所、消防試験研究センター
 書類受付 持参又は郵送で4月22～26日までに千和歌山市雑賀屋町東ノ丁63グリーンヴィラ新谷21 消防試験研究センター1和歌山県支部へ
 くわしくは受付先 ☎(0734)25-3369へ

中小企業設備近代化資金
 設備近代化資金 中小企業の方に無利子で設備資金の約半額をお貸しする制度。貸付額の最高限度は4千万円。返済方法は1年以内の据置後4年均等償還。
 設備貸与資金 中小企業の方が保証金と貸与損料で設備を使用しながら取得できる制度。貸与限度額は3千5百万円、リース限度額は6千万円。
 説明会 4月19日(伊都総合庁舎・日高総合庁舎、4月22日(西牟婁総合庁舎、4月23日(東牟婁総合庁舎、4月24日(県民文化会館)いずれも午後1時～

生涯能力開発給付金
 労働者の職業能力を向上させるため、計画的に教育訓練等を行う雇用保険適用事業主に給付金を支給します。
 給付金は教育訓練に要した経費、訓練中の賃金が対象です。支給割合や対象者の年齢は、事業所の規模や従業員数により異なります。
 申込 6月30日までに事業内職業能力開発計画書を県庁労政能力開発課へ

熊野古道ウォーク'96

中辺路町の滝尻王子から本宮町の熊野本宮大社間約40キロメートルを5回に分けて歩きます。
 期日 5月26日 滝尻王子～高原熊野神社～中辺路町役場(5・2km)
 6月23日 中辺路町役場～牛馬童子ふれあいパーク(9・9km)
 9月29日 牛馬童子ふれあいパーク～小広王子(8・5km)
 10月27日 小広王子～発心門王子(11・1km)
 11月24日 発心門王子～熊野本宮大社(6・8km)
 定員 1,000人(先着順)
 申込 往復ハガキに参加希望日、代表者の住所、参加者全員の氏名、年齢を記入



大切に生かす みんなの土地
 3月に国土庁が平成8年地価公示を発表しましたので、土地売買の目安としてください。公示価格については、市町村役場でおたずねください。今年から30市町村が地籍調査に着手しました。この調査はあなたの財産を守り、国土の保全及び有効な土地利用を促進するうえで大切なものです。
 「土地が生かす 地域が生かす」大切に生かす みんなの土地」皆さんのご理解とご協力をお願いします。

を介護するために介護休業を取得した場合、休業中に必要な生活資金を融資します。
 融資額、利率、返済期間等くわしくは県庁労政能力開発課又は各県事務所産業課へ

財世界リゾート博記念財団 地域活性化補助事業
 地域の活性化に貢献するイベントや、リゾート振興、地域間の交流を図る事業に対して、補助金を交付します。
 対象 市町村、民間団体、公共

団体を主体とした実行委員会等補助限度額 総事業費の90%以内、上限1千万円
 受付期間 4月15日～5月31日
 応募方法等くわしくは県庁博覧会記念事業推進室又は各県事務所総務課へ

大切に生かす みんなの土地

4月は土地月間です



銀色の光にうつろ

和歌山城の南、県道と和歌山・野上線（通称三年坂通り）の歩道がおしゃれに変身しています。

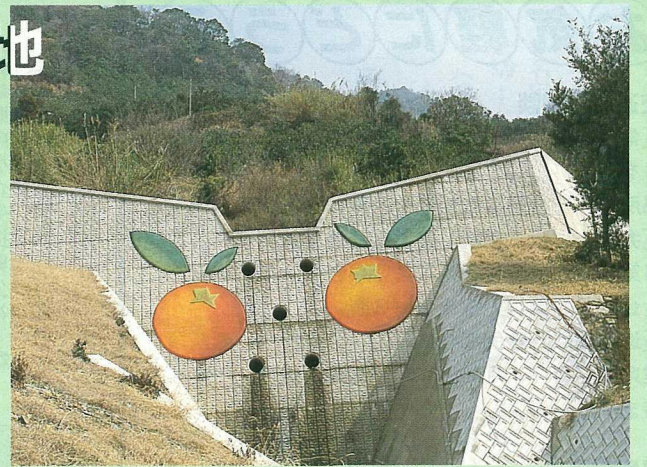
歩道は白い石畳で、約十五メートルおきに、黒川紀章氏デザインの銀色の照明灯が並んでいます。電線も地中化され、景観に配慮した美しい通りになっています。

これからの季節、散歩にいかがですか。
(和歌山市)



さすが、みかんの産地

下津町の国宝・長保寺の近く、みかん山の中腹に、直径約1メートルの大きなみかんの絵がぼっかり浮かんでいます。これは、下津町宮の前川流域の土砂流対策に造られた砂防ダムに描かれたもの。みかんの産地・下津町のシンボルにもなっています。県では地域の特性や環境に配慮した砂防事業を進めています。(下津町)



車椅子でターン

三月三日に和歌山市の県こども・障害者相談センターで「ふれ愛車椅子ダンスパーティー」が行われました。車椅子ダンスは、車椅子を利用されている方が、障害のない方と手を取り合い、音楽に合わせてダンスするもの。車椅子ダンスで共に楽しもうと、県内のボランティアグループ等の方々が結成した「車椅子ダンス・あい・ユウ実行委員会」が主催しました。総勢約百五十人の方が参加し、「体を動かすことが何よりも楽しい」とみんな軽快に踊っていました。



知恵の山

除虫菊から蚊とり線香を 上山英一郎

白い可憐な花を咲かせる除虫菊。現在、工業用としては、ほとんど栽培されていないが、有田市は今も、除虫菊製品の産地として、全国的にも高いシェアを誇っている。

この除虫菊産地の基盤を築いたのが上山英一郎である。

文久二年（一八六二）、有田郡山田原村（現在の有田市）に生まれた英一郎は、慶應義塾に進むが、学業半ばで重い脚氣にかかり帰郷する。

ようやく病気が回復した英一郎は、福沢諭吉の紹介でアメリカ人アーモアから、除虫菊の種子を手に入れ、除虫菊の増殖や普及、除虫粉製造の研究に情熱を燃やす。

明治二十一年（一八八八）、除虫菊の製粉に成功し、世界で初めて棒状蚊とり線香を完成させ、その後、うず巻蚊とり線香、除虫粉、除虫液など新しい製品を開発し、事業を拡大していった。

また、英一郎は、有田地方を襲った大災害のときも大いに活躍する。

明治二十一年、大洪水でみかんが大きな被害を受けたとき、各地からみかんの苗を買い集め、生産者に配り、みかん産地の復興をはかった。

翌年、再び大水害があり、住民が餓死寸前まで追い込まれたときも、大阪まで出かけ、米や食料品を買い求めて、大勢の危機を救ったのであった。機敏な行動と好機をつかむ才知にたけていた英一郎。昭和十八年（一九四三）、八十一歳で生涯を閉じた。

あ
と
が
き

桜が咲く季節となりました。私は、昔から桜を見ると、何となく頼りなげな気持ちになつてしまいます。

新しい学校や職場など環境が変わり、期待と不安の入りまじったような気持ちだが、桜をそう見せるのかも知れません。

この気持ちはすぐに消えてしまうのですが、新しい緊張感長く持たたいものです。

動鳴気溪 (田辺市)

田辺市稲成町の動鳴気溪。ハイキングコースとして知られています。

4月上旬には、約1,200本の桜が花を咲かせます。

近くには、遠くから眺めるとひき蛙が群れ遊んでいる姿に似ている「ひき岩群」があります。

魅力再発見



あなたのお気に入りの「わかやま自慢」をお寄せください。

場所、風景、建物、特産物など何でも構いません。簡単な説明文と写真を添えて住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒640 和歌山市小松原通1-1 県庁広報公聴課 県民の友 「わかやま魅力再発見」係へお送りください。